

令和2年6月4日

## 令和2年度6月4日 JEAS 通常総会 会長挨拶

・・・初之多チャンネル・双方向オムニ会議開催に思う・・・

皆様こんにちは 稲本です。(聞こえますか。了解です。)

本日は、工業会 日本万引防止システム協会 令和2年度通常総会・記念講演会にご参集いただきましてありがとうございます。今回はコロナ対策のためにTV会議システム・Microsoft Teamsでプレゼン内容と登壇者の発表をお伝えします。さらに、動画配信サイトYouTube限定ライブ配信で、会場前方の様子を臨場感豊かにお伝えします。

本日は会員だけでなく、日ごろよりお世話になっている関係の皆様が多数参加されています。それぞれのチャンネルからチャットでコメントされると思います。科学技術の進歩のお蔭で、専門の知識がなくても、本気!になれば、皆のことを強く思えば、このような多チャンネル・双方向のオムニ会議が開催できるようになりました。それにより、今、この時、北は北海道、南はタイや台湾から、東は米国、西は中国から、ロスプリベンションに関わる方々がこの総会に参加されています。

新型コロナが招いた天災、さらには情報公開の遅れなどの人災が引き起こしたさまざまな悲劇を思うとこの胸は張り裂けそうです。だが、今は思うまい、感情に流される時ではない。この苦難が人類への試しであるならば、我々、防犯機器と映像システムの工業会は、その行動をもって良き道を示すのみ。その実践が本日のオムニ方式の総会であり、本日のテーマである「防犯理論 その源流から現在、近未来に向けての大基軸・ロプリベンションへ」です。

昨年度は、アジア最大の見本市 China Shop 青島 2019 の視察と中国防損協会との会合、EASの安全対策推進の徹底と推奨顔認証システム制度の発表、RFIDセミナー・IoT機器のセキュリティセミナー・PIAセミナーなどを遅滞なく開催しました。さらには、会員の力を結集して苦労しながら、新冊子「人的警備と画像システムの効果的活用」「買い替え促進パンフレット」を世に出しました。4月17日には、米国情報と衛生学の専門家の知見を得て「新型コロナウイルスからお客様と従業員を守るためにすべきこと10項目」を発出し、多くの皆様に活用いただきました。さらにいま、今後の感染予防に向けて、サーモグラフィ・システム普及推進プロジェクトを発足させ、サーモグラフィ・システムの常設設置に向けての冊子を準備しています。

このように、できることからやるのではなく、今やらなければいけないことをやる! という姿勢で臨んだ覚悟のお蔭で、逆風・逆境の市場環境のなかであって、EAS市場は昨年10年ぶり1万5千台を超える出荷数となり、出荷額が前年比8.9%増加(2018年5.3%増、2019年8.9%増)となりました。そして昨年度新たに6社がJEASメンバーに加わりました。退会法人はゼロでした。これもひとえに、会員の皆様をはじめユーザー様、関係省庁、関連団体の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

当工業会の使命は、万引犯罪撲滅を目指す唯一のソリューション団体として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止・大量窃盗団の阻止・高齢万引の未然防止・内部不正対策・ロス対策という産業的・社会的役割を果たすことです。引き続き、皆様のご支援をいただきながら、この使命を次の時代へと紡いで参ります。結びに、皆様のますますの長寿とご繁栄を祈念し、挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

以上

令和2年度 通常総会・記念講演 結びの言葉より

本気

本気、本気でやれば大抵のことはできる

本気、本気でやればなんでもおもしろい

本気、本気でやれば誰かが助けてくれる

人々を仕合せにするために

本気で働いている人は

本気で勉強している人は

皆幸せで、皆美しい